

びわ湖で見られる主な水草 (水に沈んだ水草 藻類とも言う)

[●ネジレモは、びわ湖の固有種です。]



センニンモ

葉は細長く、先が出っ
ぱっている。



オオササエビモ

葉のふちが波うってい
る。先がとがっている。



ササバモ

葉は笹(ささ)の葉にいて
いる。ふちは波うっている。



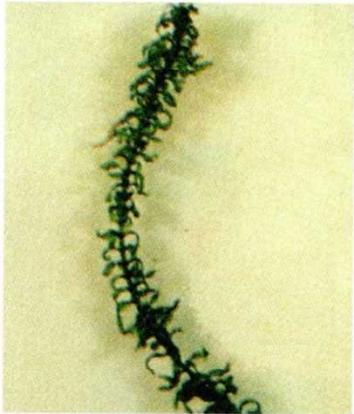
エビモ

葉は細長く、ふちが波
うっている。先が丸い。



オオカナダモ

くきのひとふしに、
4~5枚の葉がつく。



コカナダモ

くきのひとふしに、
3枚の葉がつく。



クロモ

葉はそりかえり、かた
めでおれやすい。



●ネジレモ

葉がねじれている。



マツモ

葉が松の葉のように
2本ずつある。



ホザキノフサモ

葉があみ目になってい
て、ふさふさしている。

水草が養分を吸収する部分はどれですか ① 根 ② 茎 ③ 花 ④ 葉

写真はフローティングスクール 要覧より

びわ湖の水中生物について学ぶ ねらい

びわ湖は約400万年前に「伊賀上野」に古琵琶湖として発出し 出現 消滅を繰り返し北へ移動しました。約「40万年」前に現在の「びわ湖」の形になったと言われます。水量は 約275億トンと見当が付かない水量です。

びわ湖には、動物植物プランクトン 水生微生物 動物植物が多く棲息し、生物を食する多様な生物がいます。

縄文時代「約7千年前」に びわ湖周辺に人間が住み付いたようです。古びわ湖の移動後の底には、魚類化石 プランクトンの死骸の 珪藻土が残されます。

そして、人間を頂点とした「食物連鎖」が成立します。

びわ湖には 動植物プランクトン 他 水生 微生物 動物植物が多く生息し、生物を食する多様な生物がいます。

水草は水中、水辺に生える草の総称と言われます。

水草の生育場所は、湖の中心部より沿岸部多く浅い場所と、浸水部で別の種類水草が生育しています。

水深により光の強度 水温 水圧 波の強度 水中ガス 溶存酸素等が変化し 僅か 水深10m位の変化でも幾つかの特徴を持った「水草の分布帯」が出来ています。

水草の大部分は開花 種子で増える植物です。水草は陸上の草と違い、浮葉(ふよう)を持っていたり 軟体植物の特徴を持っています。特に異形葉(いけいよう)と言って 沈水葉 浮葉 空中葉 の 三つの形を持っている水草も有ります。又、殖芽(しょくが)と言って、水草が越冬する時、葉の根本や先端に作る筆のような形の 芽の特異な種もあります。

お申し込みの際にお願い

- ◎ 所要時間 : 45分×2回 45分 2種
- ◎ 参加人員 : 5年生 以上 最小 1クラス
- ◎ 費用 : 講師のみ交通費ご負担下さい。
- ◎ 締め切り : 開催希望日の ひと月 以上前にお申込み下さい。

その他の出前講座プログラム

- ◎ びわ湖の環境についての考察
- ◎ 葉っぱの不思議
- ◎ 自然観察会と温暖化防止の樹木の働き
- ◎ 流れる水の働きと水生生物の観察
プランクトン 沈水藻 浮草類
- ◎ その他ご相談下さい。

お問い合わせ

- ◎ 〒520-0862 大津市平津 2-5-1
- ◎ (滋賀大学教育学部内 425号室)
- ◎ ☎ 077-537-7821
(同番号 FAX 留守電あり)
- ◎ e-mail shienshikai@yahoo.co.jp
- ◎ ホームページ

滋賀大学「環境学習支援士」会

URL <http://www7b.biglobe.ne.jp/~shienshi425/>



滋賀大学

「環境学習支援士」会



2

上 オオカナダモ
中 コカナダモ
下 クロモ

びわ湖の沈水藻を 学ぶ



滋賀大学「環境学習支援士」会
環境学習 の 出前講座